

当院で使用する主なお薬

アートクリニックで取り扱っている主な薬剤です。
(2017年3月現在)



排卵誘発剤（卵胞を发育させるお薬）

内服薬 自分の中にある排卵誘発ホルモンをうまく引き出してくれます

▶ セキシビット

排卵効果は弱い（排卵率50%）、内膜が厚くなります。
月経3日前から7日間飲みます。 1日4錠 朝夕食後2錠ずつ。

▶ クロミッド（クロミフェン）

排卵効果は強い（排卵率80%）、内膜が薄くなります。
月経3~5日目から5日間飲みます。 1日1~2錠 朝（夕）食後。

注射 排卵誘発ホルモンそのものです

▶ ゴナピュール150、フェリルモンP

FSHしか含まれないもの。
主に月経周期の前半に用います。

▶ HMGテイズー150、HMGテイズー75、HMGフェリング150、HMGフェリング75

FSHとLHを両方含むもの。
主に月経周期の後半に用います。

▶ ゴナールエフ300、ゴナールエフ450

遺伝子組み換えによる製剤。
自己注射が可能です。

ホルモン剤

女性ホルモン（エストロゲン（E2） 卵巣から分泌され、内膜を育てる働きをするホルモン

- ▶ **プレマリン、ジュリナ**
内服薬
- ▶ **ル・エストロジェル、ディビゲル**
塗り薬
- ▶ **オバホルモンドポー**
注射
- ▶ **エストラーナテープ**
シール

黄体ホルモン（プロゲステロン（P4） 排卵後の着床・妊娠維持に不可欠なホルモン

- ▶ **ルトラール、デュファストン**
内服薬
- ▶ **プロゲデポー、プロゲストン**
注射
- ▶ **ウトロゲスタン、ルティナス**
錠剤

その他（卵胞を破裂させるお薬など）

❖ HCG5000

注射

排卵前は膨らんだ卵胞を確実に破裂（排卵）させます。
注射後、約36時間後に排卵すると言われています。
排卵後は卵巣からの黄体ホルモン分泌を活発にします。

❖ プレドニン

❖ デカドロン

内服薬

男性ホルモンを抑えて、排卵誘発剤の効き目を良くします。
月経3日目から1日1錠、朝食後に開始します（10日間）。

❖ プラノバー

❖ ルテジオン

内服薬

女性ホルモン（E2）と黄体ホルモン（P4）と一緒に含まれています。
治療用のピルとお考えください。

薬剤 Q&A

🌿 もっと詳しい薬剤の情報や副作用なども知りたいのですが？

- ❖ 薬剤を処方する際は医師から、なぜその薬剤を使うのか、使った結果どんな効果が望めるかの説明をさせていただきます。また、さらに詳しく薬剤についてお聞きになりたい場合は診察後、スタッフにお声掛けください。

